



洋上アルプス

No.354 令和6年度

3月



2025年03月24日（月曜日）屋久島主要箇所の2024年雨量データをまとめました

屋久島に設置している11箇所の雨量計データ2024年分を集計したものです。ただし、欠測のある月は#で示しています。

- [年間降水量] 最大値はヤクスギランドの11,153mm（欠測期間あり）、最小値は永田カンカケ岳の3,746mmでした。
- [月別降水量] 最大値は白谷雲水峡の10月の1,822mmで、全体の月別では最大が8月の11,683mm（欠測期間あり）で最小は12月の1,660mm（欠測期間あり）でした。
- 8月は台風の影響により雨量が増えたものと考えられます。
- 1時間に30mm以上降った日数が多い月は白谷雲水峡で、10月に9日ありました。

観測場所	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
台風襲来回数								1					1
保全センター (標高 5m)	266 0	435 0	174 0	305 0	372 0	702 2	162 0	739 1	360 1	953 5	328 0	152 0	4,948 9
宮之浦林道 (標高 460m)	123 # 0	- # 0	388 # 0	353 0	551 1	903 2	238 1	1,541 3	1,015 1	1,054 2	240 0	286 0	6,692 # 10
白谷雲水峡 (標高 630m)	486 0	606 0	396 0	565 0	773 1	1,161 2	314 0	1,485 2	1,105 0	1,822 9	472 1	167 0	9,352 15
白谷林道220支線 (標高 650m)	440 0	482 1	207 0	454 0	552 1	950 4	278 0	1,229 1	1,037 1	1,610 7	293 0	286 0	7,818 15
小杉谷 (標高 680m)	368 0	592 0	459 0	439 0	845 1	1,241 3	236 0	402 0	511 0	439 1	406 0	77 0	6,292 5
カンカケ岳 (標高 730m)	137 0	367 0	297 0	284 0	482 1	630 2	219 1	621 1	141 0	316 0	114 0	138 0	3,746 5
ヤクスギランド (標高 1000m)	357 0	912 2	1,196 2	1,150 1	1,680 3	1,585 3	502 0	461 # 0	1,245 2	1,382 4	573 1	110 0	11,153 # 18
大川林道 (標高 1020m)	417 0	228 2	325 0	528 1	735 3	1,024 4	305 0	1,395 3	470 1	348 0	189 0	240 0	6,204 14
淀川登山口 (標高 1380m)	403 0	254 1	410 0	884 0	1,404 3	1,422 4	15 # 0	1,707 # 4	1,225 3	1,108 2	373 1	145 0	9,350 # 18
湯泊林道 (標高 380m)	192 0	370 0	320 0	402 0	512 2	592 1	288 0	874 4	326 0	480 1	172 0	59 0	4,587 8
黒味岳 (標高 1800m)	- # 0	- # 0	280 # 0	377 0	493 0	778 1	278 0	1,229 1	- # 1	667 1	# 1	# 1	4,102 # 3
月別計	3,189 # 0	4,246 # 6	4,452 # 2	5,741 2	8,399 16	10,988 28	2,835 # 2	11,683 # 20	7,435 # 9	10,456 32	3,160 # 3	1,660 # 0	74,244 # 120

※台風襲来個数は、南九州に接近した個数

※雨量 (mm)

※#は期間中に欠測のあることを示す

※上段は雨量の月合計、下段は1時間に30mm以上降った日数

※この雨量観測は気象業務法第6条1項1の研究のために行う気象の観測となっています

2025年03月18日（火曜日）

弥生杉周辺の環境整備等が完了（白谷雲水峡）～木製デッキ等設置～

白谷雲水峡の「弥生杉コース」については、これまで整備を進めてきましたが木製デッキの設置及び連結歩道の整備が完了し、令和6年度予定の全ての環境整備等が終了しましたのでお知らせします。

これまでは、弥生杉を下側からみる位置に木製デッキを設置してありましたが、この度は、倒れている弥生杉及び根株が見える位置に設置しました。小規模であるため、デッキ上で大人数でとどまったり、騒いだり押ししたり、外に出ないように注意をお願いします。観光される皆様方が、お互いにゆずり合いの気持ちを持っていただき、弥生杉を観察していただければ幸いです。

この半年間、弥生杉倒伏に伴い、観光に訪れる皆様も寂しい思いがあったかと思いますが、観光される際には、足下に十分ご注意ください、「ルールとマナー」の遵守をよろしくをお願いします。

当保全センターとしては、今後も関係者等と連携しニーズに対応できるよう進めていきたいと考えますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。



歩道～木製デッキの様子（左）、デッキから弥生杉を観る（中）、新設のデッキ、歩道、看板（右）

2025年03月08日（土曜日）令和7年「屋久島 森・水開き」の開催

屋久島での本格的な観光シーズンが始まるにあたり、入山者や登山者等の安全を祈願するため、屋久島観光協会主催による「屋久島 森・水開き」の神事が白谷雲水峡において行われました。

当日は、小雨降る中、屋久島町長はじめ熊毛支庁屋久島事務所、環境省屋久島自然保護官事務所、屋久島警察署、屋久島山岳部救助隊、屋久島森林管理署長及、当保全センター所長など関係機関約20名が参列し凜とした空気の中で執り行われました。

昨年は、白谷雲水峡にある弥生杉の倒伏など自然災害の激甚化、軽装及び状況確認不足等による登山事故など多発傾向にありました。今年こそは、一般利用者の事故・災害が減少することを祈りたいものです。

祈願祭の最後には、当保全センター所長から、弥生杉ルートへの整備も3月17日頃には、デッキ整備等も完了となり全て開放できる旨、情報提供を行いました。



神事の様子（左）、安全を願う（奥村所長）（中）、森と水への感謝・祈願（右）

2024年03月05日(水曜日)～07日(金曜日)九州森林管理局管内試験地等現地調査を実施

当保全センターの職員3名は、熊本南部森林管理署及び宮崎南部森林管理署管内に設定されている、試験地の現地調査等を実施しました。

1日目は、熊本南部森林管理署管内の「低コストモデル実証団地」を訪れ、当保全センター所長より各ゾーンの説明を受けました。エリートツリーやコウヨウザン等の早生樹の成長調査ゾーンやスギ中苗とパッチディフェンスの組合せで無下刈による成長の継続調査ゾーン等の見学を行いました。今後の低コスト造林に係る最前線の現場を見学することができ、とても良い経験となりました。

2日目は、宮崎森林管理署管内の「広葉樹展示林」と、宮崎南部森林管理署管内「林分密度試験林（通称：ミステリーサークル）」及び「三ツ岩オビスギ遺伝資源希少個体群保護林」の現地調査を行いました。

広葉樹展示林は、広葉樹の施業技術の確立や適地性の判定を目的に平成8年に設定されたものです。ユリノキやハナガカシ等、屋久島では見ることができない樹種を見ることができたり、広葉樹の利用について理解を深めることができました。

林分密度試験林では、現地にて試験地設定の概要や背景について宮崎南部森林管理署から説明を受けました。造船用材の減少に伴う建築用材としての需要の高まりから、試験地が設定された背景を知ることができたとともに、観光資源としても活用されているとのことでした。

三ツ岩オビスギ遺伝資源希少個体群保護林では、保護林設定の歴史や九州初の林業遺産選定地であることの説明がありました。屋久杉林とは、また違った巨木群を見ることができ、また、特殊な樹高の調査方法についても大変勉強になりました。



各ゾーンについて説明（左）、ミステリーサークルの内部（中）、
保護林内にはオビスギの巨木が立ち並ぶ（右）

2025年03月03日（月曜日）地杉の造林地にて断幹作業を実施

屋久島町榑川地区の国有林にて、屋久島森林管理署とともに試験的にスギ採穂台木を仕立てるため断幹（木の幹を途中で切り、木の高さを低く抑える作業）を実施しました。対象木は、平成31年度から「屋久島地杉コンテナ苗（さし木）の育苗試験」として、調査を行ってきた植栽木です。

当日は、対象木9本の断幹及び枝の剪定を「九州育種場におけるスギ採穂台木の仕立て方」を参考に作業を実施しました。

作業後に根元径や一次枝数（幹から直接出ている枝）の本数等を測定し、今後4年間にわたり同様の作業・調査を繰り返し、萌芽状況等を把握するとともに屋久島の森林・林業等の活性化に繋がっていきたいと考えています。

今後は林木育種センター九州育種場にもご協力・ご指導いただきつつ、屋久島地杉苗木生産協議会との連携も図りながら、今後の作業を実施していきたいと考えています。



枝の剪定作業（左）、根元径の計測（中）、調査地全景（右）